

於大の方も愛したといわれる “幻の花” 一般公開期間 6月4日(金)~18日(金) 花かつみ

草木地区にある花かつみ園で、保存会の皆さんが大切に保護している「花かつみ」の一般公開が始まります。

“をみなえし 咲く沢(佐紀澤)に生ふる 花かつみ かつても知らぬ 戀もするかも”

万葉集には、中臣郎女が^{なかとみのいらつめ}大伴家持に贈った歌があります。後に松尾芭蕉が『奥の細道』に記したように「花かつみ」は^{あおとものやかもち}捜し求めても見つからない幻の花といわれてきました。

阿久比町ではアヤメ科の多年草で6月上旬から中旬にかけて鮮やかな紫色の花を咲かせる野花菖蒲(ノハナショウブ)のことを「花かつみ」と呼んでいます。

室町時代に^{ほうき}伯耆の国(今の鳥取県)から草木の下芳池に移植されたと伝えられ、桶狭間の合戦の際には、徳川家康の生母於大の方が家康の武運長久を願い、坂部城で「花かつみ」の「勝つ」という名前に思いを込め、仏前に捧げたという伝説も残っています。

大正時代には、絶滅してしまったともいわれましたが、昭和になって草木の俳人竹内丁子が自生の一株を発見し、地元の人々によって密かに保護されてきました。

昭和62年には、「花かつみ保存会」が結成され、同年「花かつみ園」が開園して以来、保存会の皆さんの努力で、“幻の花”は美しい花を咲かせ、毎年人々を魅了しています。

一般公開の期間 6月4日(金)~18日(金)

午前9時~午後4時

和太鼓かつみの披露(雨天中止) 6月13日(日)

午前11時~と午後2時~の2回

早朝公開(写真撮影など)

6月12日(土)・13日(日) 午前6時~

* 開花状況などにより、公開期間、行事内容を変更する場合があります。

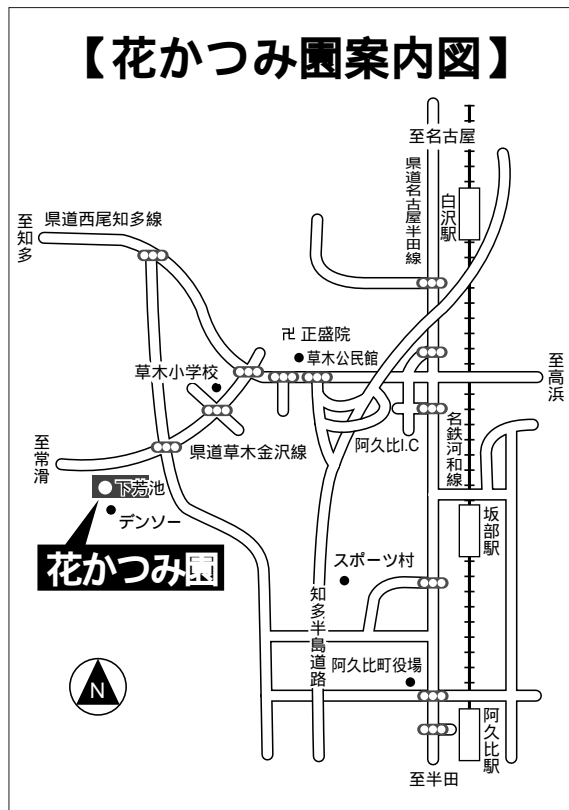
期間中、短歌・俳句・狂俳などの作品を募集します。園内のボックスに投函してください。

問い合わせ先 社会教育課 ☎(48)111(内262)

阿久比町
マスコットキャラクター
アグビー

阿久比町民憲章

わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、よりよい町づくりに努めることを誓います。
 ホタル飛びかう、豊かな自然を守ります。
 歴史と伝統を守り、教養を高めます。
 スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくります。
 オアシス運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつくります。
 ボランティア活動に、すすんで参加します。



4月 救急・火災

	救急 97
	交通事故 7
	急病 65
	その他 25

火災 0	
建物 0	
車両 0	
その他 0	

阿久比町消防団
出動人員 0人